2022年度（令和4年度）
ケーブルテレビ結城・筑西 放送番組審議会
議事録

１．開催日時　　2023年2月8日（水）15：00～16：00

２．開催場所　　ダイヤモンドホール（筑西市玉戸1053-4）

３．委員の出席　審議委員総数　15名
　　出席委員数　　11名（随行3名）

出席者（敬称略）

須　藤　　茂　会　　長（筑西市長）
小　林　　栄　副 会 長（結城市長）
浅　野　洋　二　代理出席（結城商工会議所専務理事）
舘　野　　理　代理出席（下館商工会議所専務理事）
内　田　昭　彦　委　　員（筑西広域市町村圏事務組合消防本部消防長）
爲　我　井　茂　委　　員（筑西市自治会連合会会長）
野　原　牧　子　委　　員（ゆうき女性会議代表）
野　澤　和　子　委　　員（筑西市地域女性団体連絡会会長）
滝　田　昌　孝　委　　員（結城市幼稚園連合会会長）
荒　井　幸　恵　委　　員（結城市保育連絡会会長）
松　居　万寿代　委　　員（筑西市私立幼稚園協会会長）

ケーブルテレビ株式会社　出席6名

髙　田　光　浩　（代表取締役社長）
木　村　嘉　孝　（ケーブルテレビ結城センター・筑西センター局長）
清　水　研　児　（コンテンツ部地域プロモーション課課長）
松　本　幸　美　（コンテンツ部地域プロモーション課係長）
中　山　沙　織　（コンテンツ部地域プロモーション課主任）
海老沢　聡　美　（コンテンツ部地域プロモーション課）

４．報告事項

【全体】

（1）新委員の委嘱に関する報告

（2）放送エリア及び加入状況に関する報告

（3）ケーブルテレビの主な取り組みに関する報告

（4）前回の審議会での指摘・進捗報告

質問・回答

【委　　員】結城紬の特別番組について

「伝統産業」は継承が大変で、課題が多いのでメディアで取り上げていただきありがたい。引き続きこのような取り組みを続けてほしい。

【ＣＡＴＶ】「地域貢献」を大きな目的としているので、 結城市・筑西市への発信に加えケーブルテレビのネットワークを利用し全国に発信していきます。

【コミュニティチャンネル関連】

（1）2022 年度の取り組み

（2）チャンネル構成

（3）主なレギュラー番組

（4）主な特別番組

質問・回答

特になし

５．議事

（1）事前に視聴をお願いした番組に関する意見・質問

【対象となる番組】

〈ニュ ー ス〉　「いばらき HOT ステーション」（2022 年放送より抜粋）

〈企　　画〉　「テレビ出前講座 筑西の観光」（2023 年 1 月放送）

〈企　　画〉　「押忍!!部活道 結城市立結城中学校陸上部」（2022 年 12 月放送）

〈中　　継〉　「生中継　ちくせい花火大会」（2022 年 10 月放送）

〈 特別番組 〉　「結城紬に魅せられて」（2022 年 11 月放送）

■「いばらき HOT ステーション」（2022 年放送より抜粋）

【委　　員】ニュース内コーナー「波山散歩」について
芸術家の多い筑西市。郷土愛の醸成につながるものを継続して放送してほしい。地域活性化につながる。
結城市の「結城百選」を観光ボランティアに協力いただき放送すれば、少なくとも 100 カ所の話題が放送できるのではないか。

【委　　員】人間国宝の大西勲さんなどの文化人も取り上げてほしい。

【ＣＡＴＶ】取材を通じて地域と連携しながら、今後、番組作りに反映させていきます。

【委　　員】 ニュース内コーナー「百歳万歳！」について
動画ではなく静止画像なのは理由があるのか。

【ＣＡＴＶ】コロナ禍でご自宅での取材を控える配慮から、筑西市様より、写真の提供を受け放送しました。

■「押忍!!部活道 結城市立結城中学校陸上部」（2022 年 12 月放送）

【委　　員】面白かったが、芸人ではなく、部活動そのものや生徒の紹介をメインにして欲しい。

【ＣＡＴＶ】部活動や生徒に重きをおいて制作いたします。

■「生中継　ちくせい花火大会」（2022 年 10 月放送）

【委　　員】前回のサプライズ花火の放送よりも少し良くなったと思う。

【委　　員】中継がよかった。

【ＣＡＴＶ】番組クオリティの向上に努めてまいります。

■「結城紬に魅せられて」（2022 年 11 月放送）

【委　　員】興味深く見ることができた。

【委　　員】前回の審議会でお願いした「伝統工芸」に関する番組が放送されて良かった。

【ＣＡＴＶ】今後も地域に伝わる文化芸術に関する番組を作っていきます。

■その他視聴番組に関する意見・質問

【委　　員】全体を通してもう少し内容を濃く、深く掘り下げてほしい。

【委　　員】今後も地域密着の番組を放送してほしい。

【委　　員】加入者が３割ほどであるため加入を促進してほしい。

【委　　員】「スマホ教室」を通して各自治会とケーブルテレビが連携し普及させたい。
マイナンバーカード推進のように地域参加型にしていくことが大切だと思う。

【委　　員】ホームページを開けない人もいるのでケーブルテレビに聞きたい。

【ＣＡＴＶ】スマホ・パソコンに関して、自治体の取り組みを活用し、デジタル難民を作らず、多くの人が対応できるように推進していきます。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委　　員】お店紹介の番組(う・ら・ら)の反応は返ってくるのか。お店のサービスなど双方にメリットがあると良いと思う。

【ＣＡＴＶ】反響などを伺うアフターフォローを行っており、飲食店などの反響は多くいただいています。他の地域にも放送しているため、エリア外からの集客も得られています。また、お客様アンケートでも多くのご意見が寄せられます。今後も地域が活性化するようにお店を取り上げていきます。

【委　　員】コロナ禍になりインターネット会議などが行われているので、番組もインターネットで見られるようにしてみてはどうか。

【ＣＡＴＶ】とりわけ子どもたちが出る番組は、プライバシーへの配慮、犯罪防止の観点から、インターネットでの公開には慎重な対応が求められます。
TV で、加入者に限って見られるような仕組みや、ケーブルテレビのネット加入者限定のシステムなどを検討してまいります。

【委　　員】安全性への配慮を聞いて安心した。放送する側も犯罪の恐れについて気を付けてほしい。

【委　　員】スポーツ番組の充実を希望する。特に高校野球は、県内のケーブルテレビとタイアップし放送エリア外の県内の高校の試合も見たい。

【ＣＡＴＶ】地元の選手にスポットを当てながら、高校野球を含め、様々なスポーツや文化活動なども取り上げていきます。

以上